



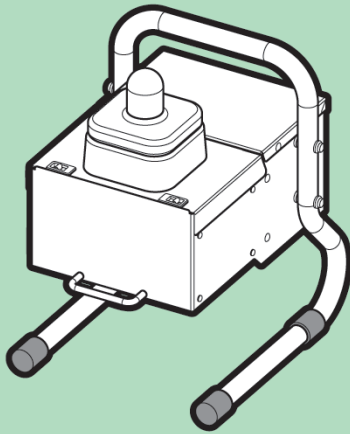
PRO CHEF

フルーツスライサー

取扱説明書

フルーツスライサー

型式/ST070A



- このたびは、プロシェフ フルーツスライサーをお買い求めいただきましてまことにありがとうございました。
- この製品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。なお、正しくご使用されなかった場合は、保証対象外となります。
- お読みになったあとは必ずいつも手元においてご使用ください。

お客様用



も く じ

■安全上のご注意	1
■各部のなまえとその働き	4
■注意ラベルの貼付位置	5
■設置と運転前の確認	6
■ご使用方法	7
●運転の手順	8
●プロテクターについて	9
●安全スイッチについて	9
■お手入れ	10
●毎日のお手入れ	11
■点検	12
●1年に1~2回の点検	12
●保管方法	12
■譲渡・廃棄	13
■故障の見分け方と処置方法	13
■仕様	14
保証書・アフターサービスについて	巻末

CHUBU
株式会社 中部コーポレーション




安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。

	警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が、想定される内容を示します。
	注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、*物的損害の発生が、想定される内容を示します。

*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を示します。

図記号の例

 感電注意	△は、注意（危険、警告を含む）を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
 分解禁止	⊙は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、⊙の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「分解禁止」を示します。
 プラグを抜く	●は、強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「差込みプラグをコンセントから抜くこと」を示します。

警告

お手元に届いたら、すぐに運送上の損傷がないかチェックすること

もし損傷があれば販売会社へ損傷の状況を(梱包箱と共に)連絡してください。損傷のまま使用すると、感電、火災、ケガの原因となります。



損傷確認

屋外で使用しないこと

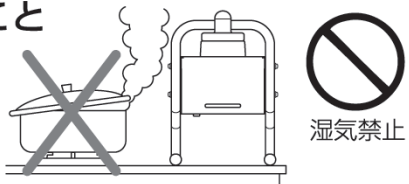
雨水のかかる場所で使用されると、漏電・感電の原因になります。



屋外禁止

湿気の多い所や、水のかかり易い場所に据え付けないこと

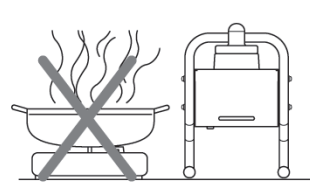
絶縁低下から漏電、感電の原因になります。



湿気禁止

熱器具(ガスコンロ等)を周囲に置かないこと

熱でプラスチックが溶けたりして危険です。



熱器具禁止

電源は専用コンセントを使用すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用及びタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



専用電源

アース工事を必ず行なうこと

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。(電気工事業者によるD種接地工事が必要です。)

アース端子付コンセント使用のとき



アース線を実確につなぐ

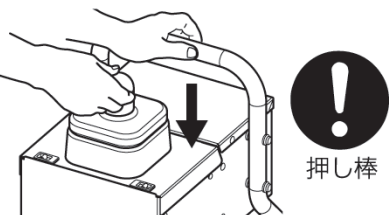


アース工事

警告

食材をスライスするときは、押し棒を使用すること

無理に手で押し込むと、手が一緒に入り込み、ケガの原因になります。



押し棒

異常時は、電源スイッチをOFF(切)にして電源プラグを抜き、元電源を切って、すぐに最寄りの販売会社へ連絡すること

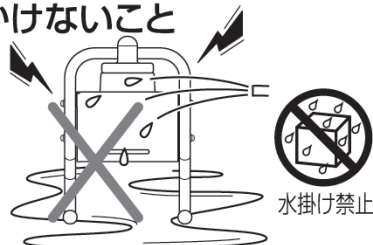
異常のまま運転を続けると感電、火災の原因になります。



プラグを抜く

製品に直接水をかけないこと

ショート、感電、錆び、故障の原因になります。



水掛け禁止

この製品は業務用ですので子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところに設置しないこと

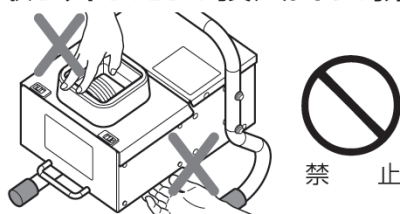
感電、ケガの原因になります。



禁止

運転中にフタを取り外したり、投入口や、排出口の中に手を入れないこと

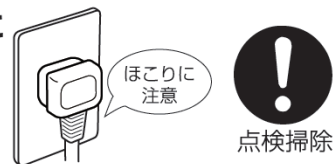
ケガの原因になります。



禁止

電源プラグの刃及び刃の取り付け面にほこりが付着していないか定期的に確認し、ガタツキのないように刃の根元まで確実に差し込むこと

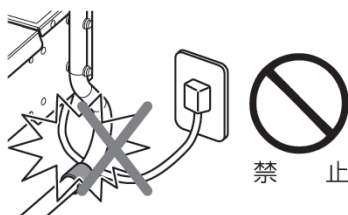
ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。



点検掃除

電源コードを傷つけたり、汚さないこと

加工したり、引張ったり、たばねたり、重いものを載せたり、はさみ込んだり、また汚したりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。



禁止

濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないこと

感電の原因になります。



濡手禁止

使用中に漏電遮断器が作動した場合には、最寄りの販売会社へ連絡すること

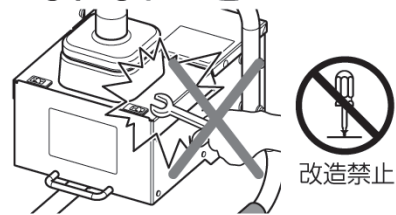
無理に漏電遮断器をON(入)にすると、感電や火災の原因になります。



漏電連絡

改造は絶対におこなわないこと

改造工事をされると、感電、火災の原因になります。



改造禁止

修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理しないこと(刃物ユニットの取り付け、取り外し、お手入れ作業は除く)

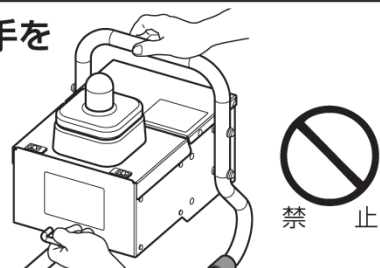
異常作動してケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因になります。



分解禁止

運搬時は必ず取手を持つこと

ケガの原因になります。



禁止

刃物ユニットの取り付け、取り外しは、必ず電源スイッチをOFF(切)にして電源プラグを抜き、必ず取手を持ち、刃物に直接手を触れないこと

ケガの原因になります。

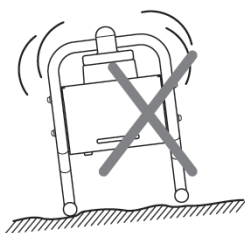


プラグを抜く

⚠ 注意

丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること

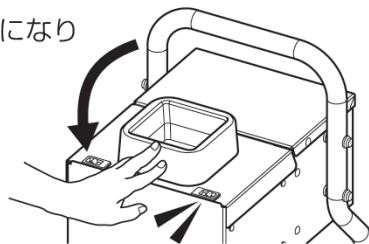
据え付けに不備があると転倒、落下によるケガなどの原因になることがあります。



水平設置

運転時は必ずフタを取り付けること

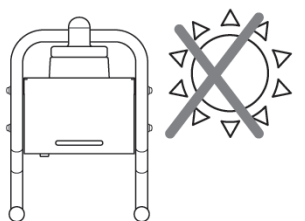
ケガの原因になります。



フタを取り付ける

直射日光の当たるところで使用しないこと

プラスチックが割れたりして危険です。



禁止

可燃性スプレーを近くで使用したり、揮発性、引火性のあるものを置かないこと

スイッチの火花などで引火し、発火の原因になることがあります。



禁止

投入口の中に食材以外の異物（スプーン・つま楊枝・ボタンなど）は入れないこと

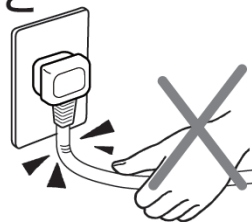
モーターが止まり、発熱、火災の原因になることがあります。



異物禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと

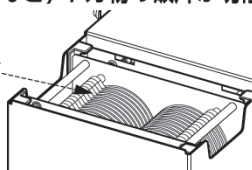
必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引張るとコードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。



禁止

運転中にモーターが止まったときは、必ず電源スイッチをOFF(切)にし、電源プラグを抜き、スライスした食材は捨て、食材以外の異物（スプーン・つま楊枝・ボタンなど）や刃物の破片が切削室の中に入らないことを確認すること

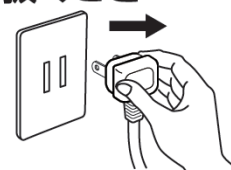
故障の原因になります。



異物確認

1日の営業が終了したら、安全のため電源スイッチをOFF(切)にし、電源プラグをコンセントから抜くこと

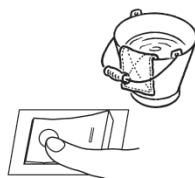
電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因になることがあります。



プラグを抜く

掃除するときや点検のときは、必ず電源スイッチをOFF(切)にし、電源プラグも抜くこと

思わぬところに水が入って感電したり、製品が動き出して、ケガの原因になります。



プラグを抜く

廃棄は専門の業者か、最寄りの販売会社に依頼すること

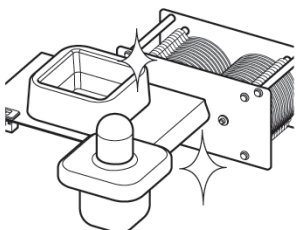
放置しますとケガの原因になることがあります。



専門業者

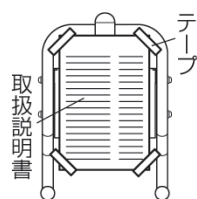
フタ、刃物ユニット、押し棒は必ず掃除すること

掃除をしないと、雑菌が繁殖し、健康被害の原因になることがあります。



掃除

このお使いになっている製品を他に売ったり、譲渡されるときは、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を製品本体の目立つ所にテープ止めすること



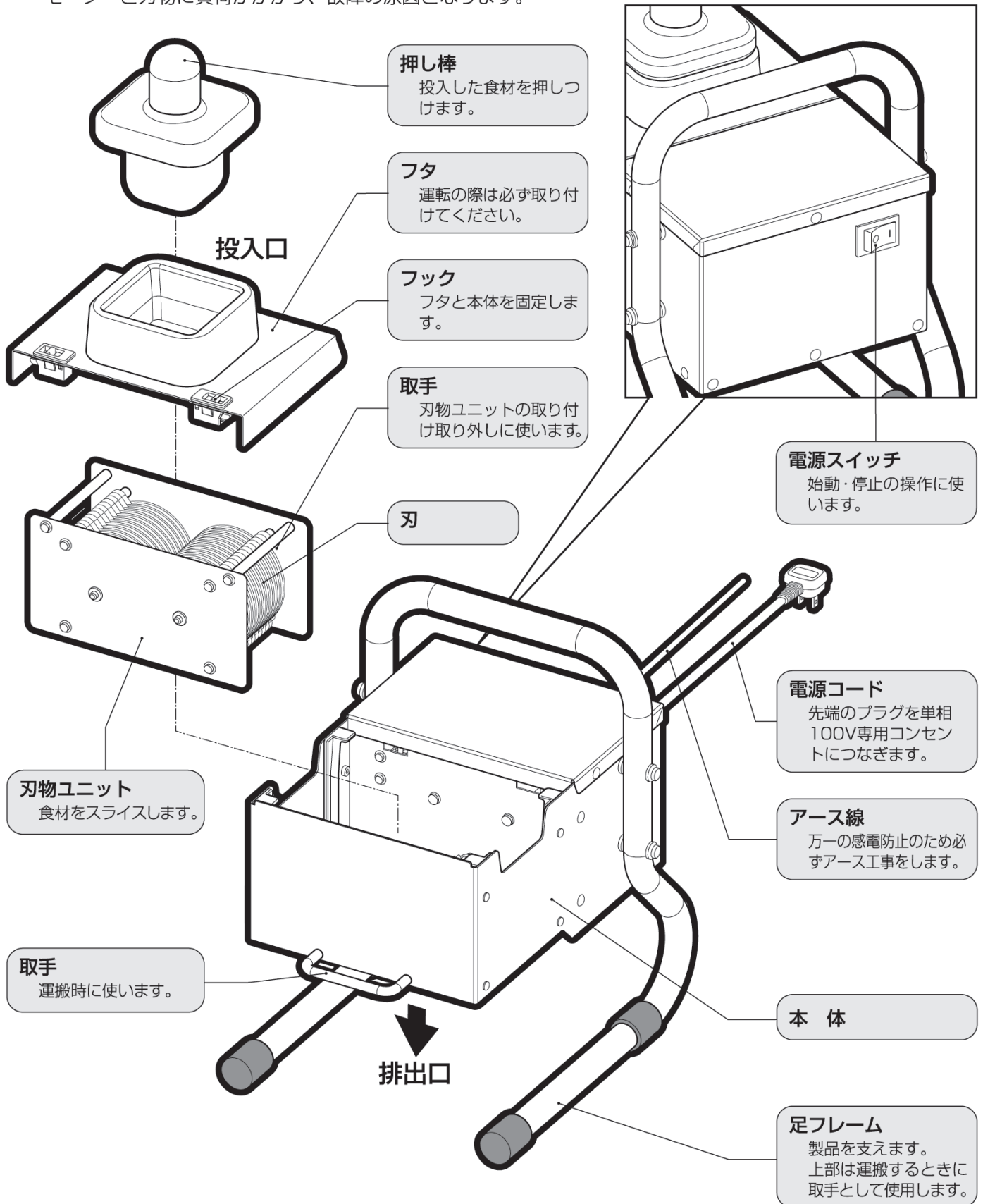
テープ止め

各部のなまえとその働き

■使用目的

●本機はイチゴなどの柔らかなフルーツをスライスする製品です。

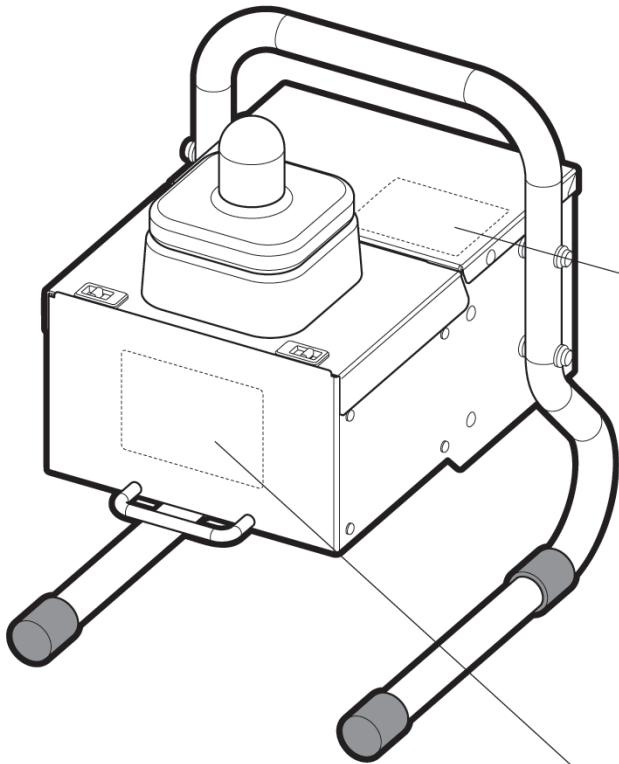
※冷凍フルーツや硬いフルーツ、大きな種などが入ったフルーツは使用しないでください。
モーターと刃物に負荷がかかり、故障の原因となります。



■注意ラベルの貼付位置

お願い

- ラベルを剥がさないでください。
- ラベルが剥がれたり、文字が消えたりした場合は、販売会社より購入し、貼り替えてください。
ご注文のときは、ラベルの品名をご指示ください。

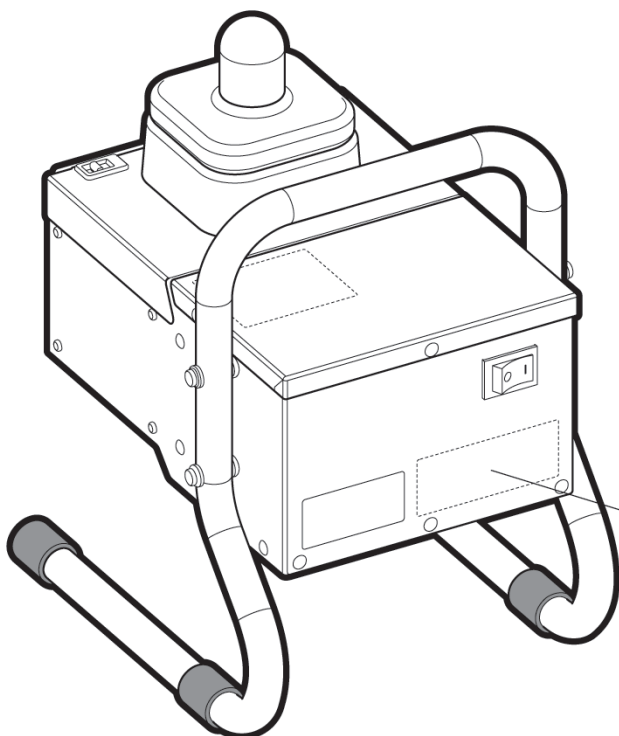


品名：PLラベル E (COM39-708)

⚠ 警告 E	
! よく読む	この製品を安全に正しく使用していただくために、お使いになるまえに取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
🚫 接触禁止	投入口から手をいれないこと 刃物に触れてケガをします。
🔌 プラグを抜く	掃除のときなどフタを開けるときは、電源プラグを抜くこと。

品名：警告ラベル (ST070A091)

⚠ 警告	
🚫 禁止	
投入口や排出口から手や指を入れないこと。 刃物に触れてケガをします。 運搬時は必ず取手を持つこと。	



品名：PLラベル/カンデン (COM39-702)

⚡ 感電注意	⚠ 警告
感電のおそれあり アース工事を必ず行うこと アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないこと アースが不完全な場合は、感電の原因になります。	

各部のなまえとその働き

設置と運転前の確認

■設置

⚠ 警告

電源は専用コンセントを使用すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用及びタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



専用電源

アース工事を必ず行なうこと

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。(電気工事業者によるD種接地工事が必要です。)



アース工事

屋外で使用しないこと

雨水のかかる場所で使用されますと、漏電・感電の原因になります。



屋外禁止

湿気の多い所や、水のかかり易い場所に据え付けないこと

絶縁低下から漏電、感電の原因になります。



湿気禁止

熱器具(ガスコンロ等)を周囲に置かないこと

熱でプラスチックが溶けたりして危険です。



熱器具禁止

この製品は業務用ですので子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところに設置しないこと

感電、ケガの原因になります。



禁止

⚠ 注意

丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること

据え付けに不備があると転倒、落下によるケガなどの原因になることがあります。



水平設置

直射日光の当たるところで使用しないこと

プラスチックが割れたりして危険です。



禁止

■運転前の確認

●電源は交流100Vに接続してください。

使用電源電圧は90V～110Vでお使いください。但し発電機は使用しないでください。発電機使用時の故障は保証いたしません。

●周囲温度10～40℃でお使いください。

使用温度範囲は周囲温度10～40℃です。この温度範囲以外では、正常に動作しないことがあります。

●初めてお使いになる時は、保管時にホコリ・ゴミなどがフタ、刃物ユニット、押し棒などに付着している恐れがありますので、掃除をしてください。

(P.11 毎日のお手入れ参照)

■その他

●本体を運搬する時は、足フレームの上部と取手を持ってください。

(注意) 所定の箇所以外を持つと、刃物に触れたりして危険です。

ご使用方法

警告

運転中にフタを取り外したり、投入口や、
排出口の中に手を入れないこと

ケガの原因になります。



禁止

異常時は、電源スイッチをOFF(切)にして電源
プラグを抜き、元電源を切って、すぐに
最寄りの販売会社へ連絡すること

異常のまま運転を続けると感電、火災の原
因になります。



プラグを抜く

使用中に漏電遮断器が作動した場合には、
最寄りの販売会社へ連絡すること

無理に漏電遮断器をON(入)にすると、感
電や火災の原因になります。



漏電連絡

食材をスライスするときは、押し棒を使
用すること

無理に手で押し込むと、手が一緒に入り込
み、ケガの原因になります。



押し棒

刃物ユニットの取り付け、取り外しは、必ず電源スイッ
チをOFF(切)にして電源プラグを抜き、
必ず取手を持ち、刃物に直接手を触れな
いこと

ケガの原因になります。



プラグを抜く

濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れた
り、電源スイッチを操作しないこと

感電の原因になります。



濡手禁止

注意

運転中にモーターが止まったときは、必ず電源スイッチをOFF(切)
にし、電源プラグを抜き、スライスした食材は捨て、食
材以外の異物(スプーン・つま楊枝・ボタンなど)や刃
物の破片が切削室の中に入らないことを確認すること

故障の原因になります。



異物確認

可燃性スプレーを近くで使用したり、揮発性、
引火性のあるものを置かないこと

スイッチの火花などで引火し、発火の原因
になることがあります。



禁止

運転時は必ずフタを取り付けること

ケガの原因になります。



フタを取り付ける

電源プラグを抜くときは、電源コードを
持って抜かないこと

必ずプラグを持って抜いてください。電源
コードを引張るとコードが傷つき、火災、
感電の原因になることがあります。



禁止

1日の営業が終了したら、安全のため電源スイッ
チをOFF(切)にし、電源プラグをコンセント
から抜くこと

電源プラグやコンセント部にほこりが溜まっ
て発熱、発火の原因になることがあります。



プラグを抜く

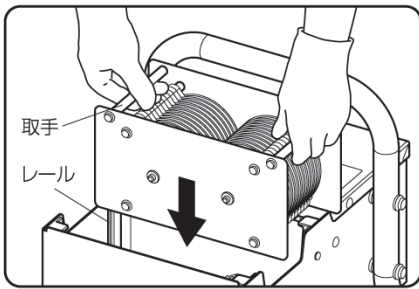
フタ、刃物ユニット、押し棒は必ず掃除
すること

掃除をしないと、雑菌が繁殖し、健康傷害
の原因になることがあります。



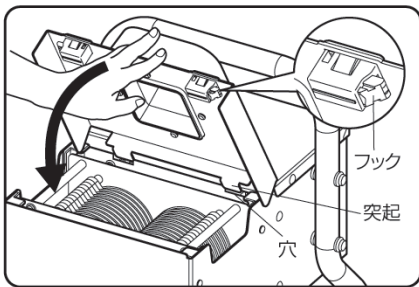
掃除

■ 運転の手順



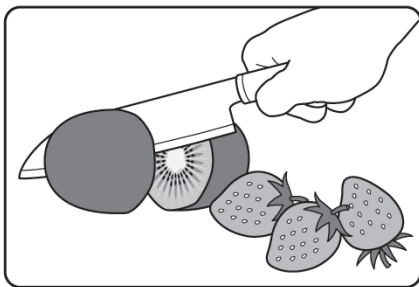
1 刃物ユニットを取り付ける。

- 本体のレールに沿って下にスライドさせ、取り付けてください。
 - 刃物ユニットの取手が上になるように取り付けてください。
- ※必ず刃物ユニットの取手を持ち、刃に触れないよう注意してください。



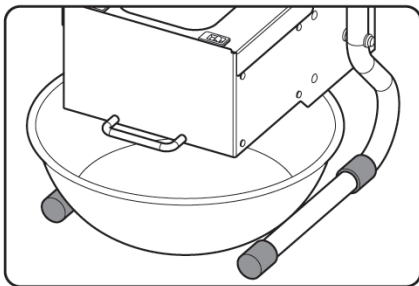
2 フタを取り付ける。

- フタの突起を本体の穴に差し込みながら、下に回転させ、降ろしてください。フックが自動でロックされます。
- フタは必ず取り付けてご使用ください。フタが確実に取り付けられていないと安全スイッチが働き、製品は運転できません。



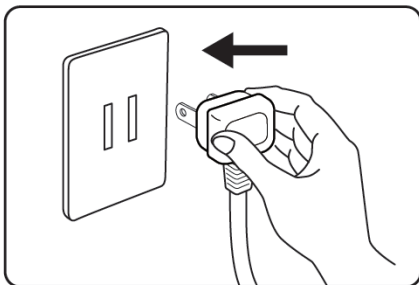
3 食材を用意する。

- スライスするフルーツを、あらかじめ投入口に入る大きさに切っておいてください。
- ※下記の物は使用しないでください。
- ・ 冷凍フルーツや硬いフルーツ。
 - ・ 大きな種などが入ったフルーツなど。



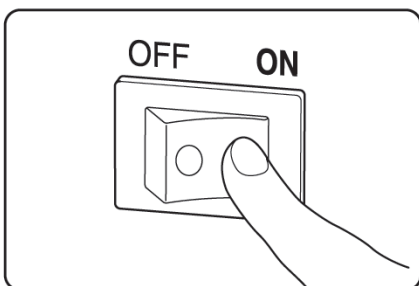
4 容器を用意する。

- スライスされたフルーツを受けるボール等の容器を排出口の下に置いてください。



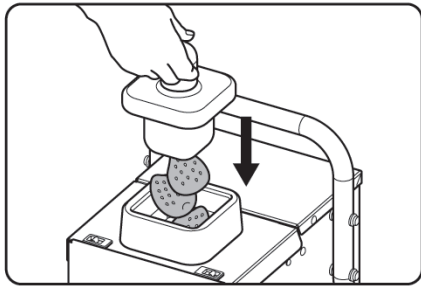
5 電源プラグを差し込む。

- 電源スイッチがOFF（切）になっていることを確認し、電源プラグをコンセントに差し込んでください。



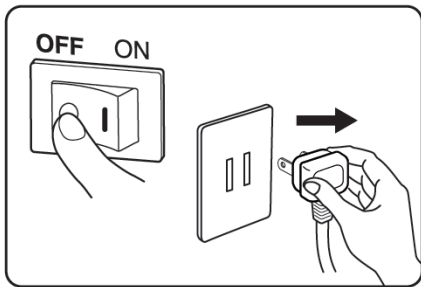
6 電源スイッチをON（入）にする。

- 運転が開始します。
- ※運転中に投入口や排出口へ手や指を入れないでください。ケガの原因になります。



7 食材を投入する。

- 用意したフルーツを投入口に入れ、「押し棒」を使用して軽く押し込んでください。
- ※手や指で押し込まないでください。ケガの原因になります。

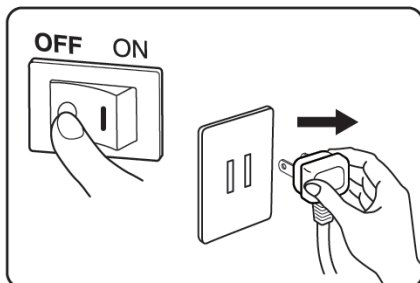


8 電源スイッチをOFF(切)にする。

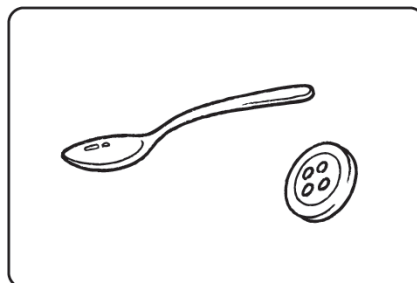
- 運転が停止します。
- 一日の営業が終了したら、安全のため電源スイッチをOFF(切)にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ※刃物ユニットは使用后、直ぐに洗浄し、食材を残さないようにしてください。食材が残っていると雑菌が繁殖し、健康障害の原因になる恐れがあります。

■プロテクターについて

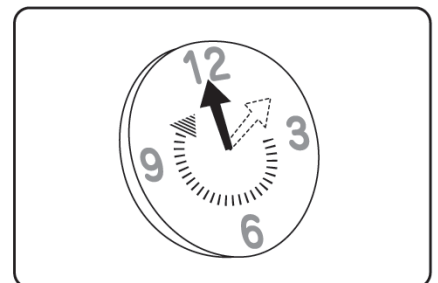
- モーターに負荷がかかり過ぎるとモーターの温度が上昇し、自動的にプロテクターが作動して製品を止める装置です。
- プロテクターはモーターに内蔵しております。
- 作動したときは、次の処置をしてください。



- 1 電源スイッチをOFF(切)にし、コンセントから電源プラグを抜いてください。



- 2 過負荷の原因を取り除いてください。食材・異物(スプーン・つま楊枝・ボタンなど)を取り除いてください。また、刃物に損傷がないか確認してください。



- 3 1時間放置してください。モーターの温度が下がり自動的に復帰いたします。
※プロテクターがたびたび作動する場合は販売会社にご相談ください。

■安全スイッチについて

- 運転中にフタを取り外すと危険防止の為、安全スイッチが働き、製品が停止します。
- 安全スイッチを電源スイッチのかわりに使うことは絶対にしないでください。故障の原因になります。

お手入れ

警告

刃物ユニットの取り付け、取り外しは、必ず電源スイッチをOFF(切)にして電源プラグを抜き、必ず取手を持ち、刃物に直接手を触れないこと



プラグを抜く

ケガの原因になります。

修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理しないこと(刃物ユニットの取り付け、取り外し、お手入れ作業は除く)



分解禁止

異常作動してケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因になります。

製品に直接水をかけないこと

ショート、感電、錆び、故障の原因になります。



水掛け禁止

濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないこと



濡手禁止

感電の原因になります。

注意

掃除するときや点検のときは、必ず電源スイッチをOFF(切)にし、電源プラグも抜くこと

思わぬところに水が入って感電したり、製品が動き出して、ケガの原因になります。



プラグを抜く

可燃性スプレーを近くで使用したり、揮発性、引火性のあるものを置かないこと

スイッチの火花などで引火し、発火の原因になることがあります。



禁止

フタ、刃物ユニット、押し棒は必ず掃除すること

掃除をしないと、雑菌が繁殖し、健康傷害の原因になることがあります。



掃除

1日の営業が終了したら、安全のため電源スイッチをOFF(切)にし、電源プラグをコンセントから抜くこと



プラグを抜く

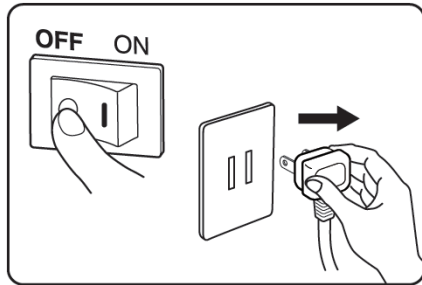
電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因になることがあります。

お願い

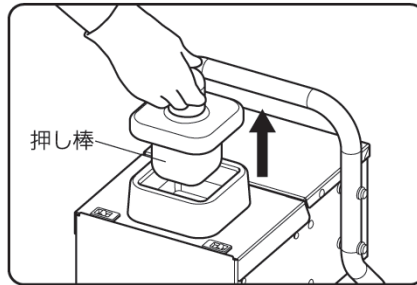
- お手入れで取り外した部品は、乾燥機・消毒保管庫などを使用しないでください。プラスチックが変形・破損することがあります。(フタ・押し棒など)
※食器洗浄機を使用する場合は、必ず使用する洗剤に記載されている「使い方」「使用上の注意」をご確認ください。
- プラスチック部には、つぎのようなものは使わないでください。プラスチック面を痛めます。
シンナー・ベンジン・アルコール・石油・粉石けん・みがき粉・アルカリ性洗剤・酸・次亜塩素酸ソーダ・たわしなど。
- 化学雑巾・アルコール除菌剤をご使用のときは、その「使いかた」に従ってください。

■毎日のお手入れ

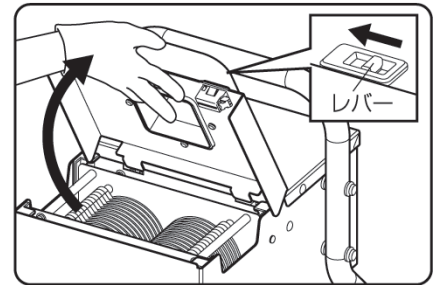
●ご使用後は必ずお手入れをしてください。食材が残っていると雑菌が繁殖し、健康障害の原因になる恐れがあります。



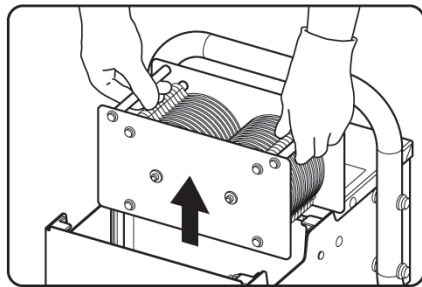
- 1 電源を切る**
電源スイッチをOFF (切) にし、コンセントから電源プラグを抜いてください。



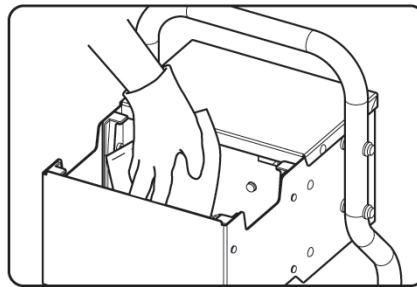
- 2 押し棒を取り外す**



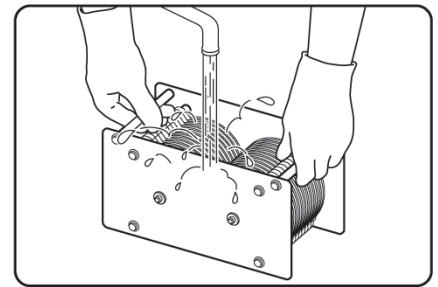
- 3 フタを取り外す**
フックのレバーを内側にスライドさせ、前側を持ち上げるとフタが外れます。



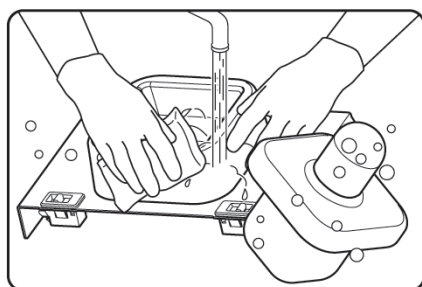
- 4 刃物ユニットを取り外す**
刃物ユニットの取手を持ち、上に持ち上げてください。刃で手を切らないよう十分注意してください。



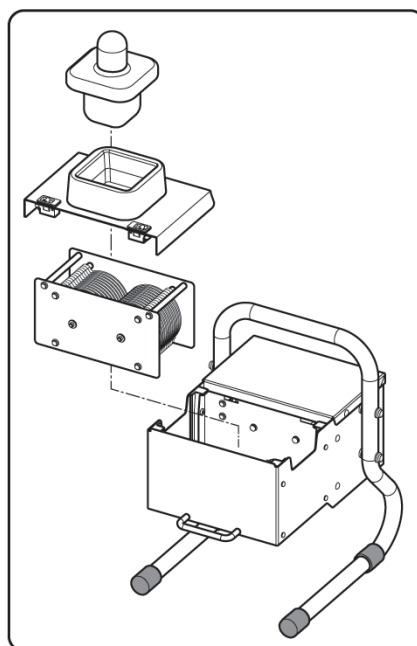
- 5 本体の清掃**
本体の外部を、清潔な布などで拭き取りをしてください。



- 6 刃物ユニットの洗浄**
刃物ユニットは使用后、直ぐに洗浄し、食材を残さないようにしてください。



- 7 取り外した各パーツの掃除**
取り外した残りの各パーツは、台所用洗剤とスポンジタワシで洗った後、よく水洗いして乾いた布で水分をよく拭き取ってください。



- 8 組み立てる**
乾燥後、逆の手順で組み立ててください。

点検

■1年に1～2回の点検

警告

電源プラグの刃及び刃の取り付け面にほこりが付着していないか定期的に確認し、ガタツキのないように刃の根元まで確実に差し込むこと

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。



点検掃除

電源コードを傷つけたり、汚さないこと

加工したり、引張ったり、たばねたり、重いものを載せたり、はさみ込んだり、また汚したりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。



禁止

アース線の点検

- アース線は切れたり、接続部がゆるんでいませんか？

異常がある場合は、電気工事店に修理依頼してください。

電源コード・プラグの点検

- 専用コンセントを使用されていますか？

他の機器と共用になっているときは、専用コンセントに差し換えてください。

- 電源プラグの刃の取り付け面及びコンセントに、ホコリが溜まっていませんか？

ホコリがついている場合は、ホコリを取り除いてください。

- 電源コードが傷ついたり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだり、汚れていませんか？

異常がある場合は販売会社または、電気店に相談してください。

■保管方法

一週間以上使用しないときは、製品を十分に乾燥させてから、湿気のないところに保管してください。

長年ご使用の厨房・調理機器の点検を！

愛情点検



こんな症状はありませんか？

- スイッチを入れても運転しないことがある。
- 運転中に異常な音や振動がする。
- いつもより製品が熱くなる。
- こげ臭い「におい」がする。
- 電源コードを曲げると通電しないことがある。
- 触れるとビリビリ電気を感じる。
- その他の異常・故障がある。

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源プラグを抜く、またはブレーカーを切り、販売会社に点検・修理をご相談ください。

譲渡・廃棄

■譲渡

⚠ 注意

このお使いになっている製品を他に売ったり、譲渡されるときは、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を製品本体の目立つところにテープ止めすること



テープ止め

■廃棄

⚠ 注意

廃棄は専門の業者か、最寄りの販売会社に依頼すること

放置しますとケガの原因になることがあります。



専門業者

故障の見分け方と処置方法

⚠ 警告

修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理しないこと
(刃物ユニットの取り付け、取り外し、お手入れ作業は除く)

異常作動してケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因になります。



分解禁止

お願い

- 故障かな？と思ったら、次のことをお調べください。それでも不具合が直らないときは、最寄りの販売会社へご連絡ください。
販売会社へ連絡するときは、型式・製造番号・据付年月日と故障状況をお知らせください。
- 新しい刃物ユニットなど、部品のご注文につきましては、最寄りの販売会社へご連絡ください。

現象	お調べいただきたいところ	処置方法
製品が動かない	●電源プラグが抜け落ちていませんか？	●コンセントにしっかり差し込んでください。
	●電源スイッチがOFFになっていませんか？	●ONにしてください。
	●フタがロックされていますか？	●フタを確実に取り付けてください。
	●刃物ユニットの中に食材が詰まっていますか？	●食材を取り除いてください。
	●プロテクターが作動していませんか？	●プロテクターの項参照。(P.9 参照)
食材の切れ味が悪い	●刃が摩耗していませんか？	●刃物ユニットを交換してください。
	●刃物ユニットの中に食材が詰まっていますか？	●食材を取り除いてください。

仕様

品名	フルーツサイザー
型式	ST070A
電源	単相100V 50/60Hz
定格消費電力	35/36W
定格時間	連続
質量	9kg
外形寸法	幅271×奥行333×高さ358mm
スライス厚み	5mm
処理能力	イチゴ 30個/分
付属品	①取扱説明書…1部 ②押し棒…1個

保証書

品名	フルーツライサー
型式	ST070A
お買上日	年 月 日
保証期間	1 年
お客様の住所	
お名前	
販売店名住所	

※必ず各欄をご記入ください。

●故障が発生した場合は本書記載内容により修理いたします。

- 保証期間内は無料修理いたします。
ただし、次の場合は保証期間内でも有料になります。
 - 誤った使用目的・使用方法・改造による故障。
 - 落下・火災・地震など天災地変による故障。
 - 消耗部品の交換。・保証書のないもの。
- 保証期間後は、修理できる製品についてご希望により有料修理いたします。
- 保証書は紛失されても再発行いたしません。
- 保証書は日本国内で使用される場合のみ有効です。
(This warranty is valid only in japan.)
- 保証期間の内外に関わらず、機械の故障により発生した業務上の保証（操業保証）はいたしません。

CHUBU
株式会社 中部コーポレーション

〒511-0944 三重県桑名市大字芳ヶ崎字堂ヶ峰1533の1



アフターサービスについて

- 保証書は記載内容をご確認の上大切に保管してください。紛失されても再発行は致しません。
- 保証書にお買い上げ日、販売会社など所定事項の記入がないと有効とはなりません。記入がないときはすぐにお買い上げの販売会社にお申し出ください。
- 万一、故障した場合には、保証期間中は保証書の記載内容に準じて無料修理を致します。
- 詳細は保証書をお読みください。
- 保証期間内の修理などアフターサービスについてご不明のときは、お買い上げの販売会社、または、最寄りの当社営業所までご連絡ください。

CHUBU
株式会社 中部コーポレーション

フード機器事業部／三重県桑名市大字芳ヶ崎字堂ヶ峰1533の1 〒511-0944
東京／TEL 03 (5833) 9968 大阪／TEL 06 (6788) 2251
中部／TEL 0594 (32) 1130 福岡／TEL 092 (474) 1312